

科目名		授業形態	担当教員名	
コミュニケーション論		講義・演習	稲垣 佑	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 2 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
対人援助職は、様々な背景をもつ他者と関わり、人間関係を適切に構築する必要がある。そのためには人の多様さを理解し、相手の背景やその場の状況に応じて適切なコミュニケーションを行うことが重要になる。本科目では、コミュニケーションに関する基本的な理論の習得を目指すとともに、授業内での体験的な活動を通して、それらの理論を実際に活用して表現できるようになることを目的とする。				
授業の到達目標				
①コミュニケーションを行うことの意義、重要性について説明できる。 ②コミュニケーションの基本的な理論について説明できる。 ③コミュニケーションの基本的な理論に基づき表現することができる。 ④対人援助職におけるコミュニケーションの特徴と具体的な技法について説明することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション、対人援助職におけるコミュニケーション			
2	聞き上手になる技術（１）			
3	聞き上手になる技術（２）			
4	伝え上手になる技術（１）			
5	伝え上手になる技術（２）			
6	共感上手になる技術（１）			
7	共感上手になる技術（２）			
8	コミュニケーションの仕組み			
9	自分自身とのコミュニケーション			
10	医療分野におけるコミュニケーション（１）			
11	医療分野におけるコミュニケーション（２）			
12	状況に即したコミュニケーション法の選択（１）			
13	状況に即したコミュニケーション法の選択（２）			
14	相談面接場面でのコミュニケーション			
15	振り返り、まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	40%	授業中に実施する。		
小テスト	30%	コミュニケーションに関する基本的知識の習得を評価基準とする。		
平常点	30%	授業中の取り組みをもとに評価する。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
こころが動く医療コミュニケーション読本		中島 俊	医学書院	
自由記載	講義資料を配布する			
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖		大谷佳子	翔泳社	
対人援助の作法 誰かの力になりたいあなたに必要なコミュニケーションスキル		竹田伸也	中央法規出版	
自由記載				
備考				